

# 令和3年度 古賀市立古賀東小学校 学校経営要綱

子どもが安心して学べる学校 地域から信頼される学校

## 1 学校経営の基盤

### (1) 公教育としての基盤に立つ学校

- 日本国憲法を基に、教育基本法や学校教育法をはじめとする関係諸法規、学習指導要領に則って公教育を行う。
- 福岡県教育振興基本計画及び、第4次古賀市総合振興計画(後期基本計画)、古賀市教育大綱に則り、児童や保護者、地域及び学校の実態に即して未来をたくましく生きる児童を育成する。
- 福岡県人権教育啓発基本指針、学校教育における在日外国人の人権に関する指導上の指針、古賀市人権施策基本指針に基づいて人権教育を推進する。

### (2) 現代社会の要請に応える学校

- 社会的自立の基盤となる、学力、体力、豊かな心を培う。
- 社会の変化に対応し、社会を支え、その発展に寄与する力を育てる。
- 基礎基本を重視し、児童一人一人の個性や特性に応じた教育を行う。

### (3) 児童・保護者・地域の実態に基づき、その願いに応える信頼される学校

- 児童にとって「学びたい」「通いたい」学校、保護者には「通わせたい」学校づくりを行う。
- 知・徳・体の調和のとれた人格形成をめざす教育を行う。
- 学校・家庭・地域が、児童の成長を願う一体となった教育活動の充実と発展を図る
- 児童が地域のひと・もの・ことへの愛着と誇りをもつような教育活動を行う。

## 2 本校の教育目標

**地域を愛し、人間性豊かでたくましい実践力を持った子どもの育成**

「地域を愛し」とは

子どもたちが地域の「ひと・もの・こと」との継続的なかわりを持ち、自分の住む地域のよさを実感し、地域社会を支える一員としての自覚や地域への愛着を深めていくこと。

「人間性豊か」とは

社会的自立の基盤となる知徳体の調和的発達を図られた姿であり、あらゆる教育活動を通して培わなければならないこと。

「たくましい実践力」とは

自分自身で設定した目標の達成に向けて強い意志と意欲をもち、最後まで粘り強くやり遂げる態度と基盤となる強い心や体力がみなぎっていること。

教育目標は、子どもも教師もめざす姿としてその価値を共有し、それぞれの立場や役割に応じて、主体的に創造的に協働的に教育活動を推進していくことにより、具現化を図るものである。



**子どもも職員も、主体的・創造的・協働的に活動する学校**

## 1-1 学校経営要綱

### (1) 目指す児童像

- 【さわやか】〈なかまづくり〉自分とみんなで楽しく「協働」  
 だれとでも仲良くでき、進んで人と関わる子ども  
 思いやりと感謝の心を持つ子ども  
 互いを信頼し合う子ども
- 【しなやか】〈まなびづくり〉自分やみんながかしこく「創造」  
 自ら課題を見だし、柔軟に考えたり解決したりする子ども  
 学ぶ意欲を身につけた子ども
- 【すこやか】〈いのちづくり〉自分もみんなもたくましく「自立」  
 志と自立心をもち、目標達成にむけて創意工夫しながら努力する子ども  
 自ら心身を鍛える元気な子ども

### (2) 目指す学校像

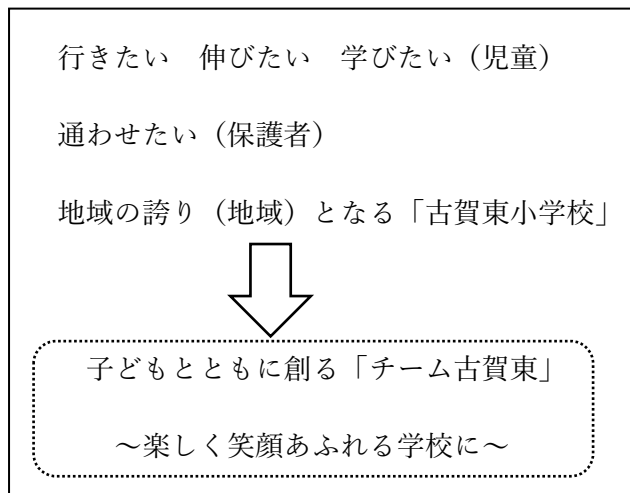
- 児童が楽しく活動できる学校
- 保護者が信頼して子どもを託せる学校
- 環境が整い、安全で美しい学校

### (3) 目指す教師像

- 教育専門職として自己研鑽に励む教師
- 健康で明るく、頼りがいのある教師
- 一丸となって教育活動に取り組む教師

### (4) 目指す授業像

- 本気で学びたいという問いのある授業
- 考えを磨き合う対話活動がある授業
- 学ぶ喜びや学び合う喜びのある授業

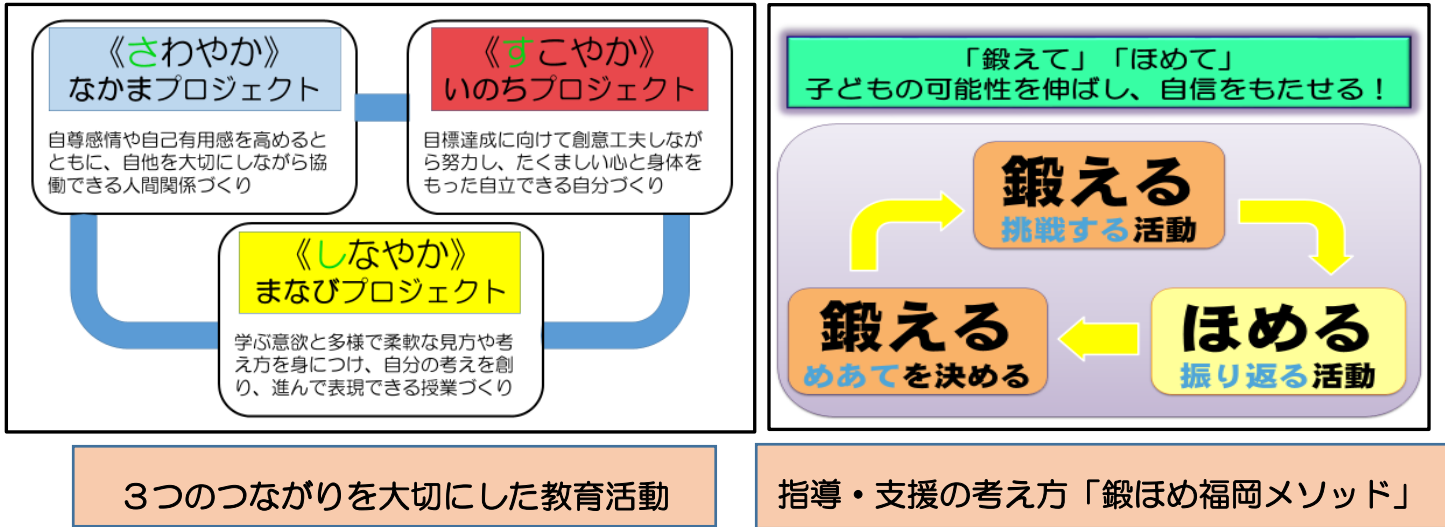


## 3 本校の教育課題と経営課題

教育課題	経営課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>○学習意欲と自尊感情に伸びが見られ、児童の学びにむかう態度が積極的になってきている。</li> <li>●発達課題に応じた支援による個の伸びは見られてきたが、基本的な生活習慣の乱れが要因と思われる子どもたちが、集団生活にうまく適応できていない。</li> <li>●学習内容の定着について、学級間、学年間での定着に差が見られる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○中核教員の学校運営への参画意識の向上、特別支援教育・生徒指導委員会の活性化が見られ、教員の主体性が高まってきている。</li> <li>○学年主任を中心に学年研修が推進されている。</li> <li>●教育活動や学校生活に関する指導の徹底に不十分さが見られる。</li> <li>●学習指導・生徒指導及び学級経営について指導の質と量のばらつきが見られる。</li> </ul>

## 4 経営の基本方針

- (1) 「学ぶ意欲の向上」をめざし、人権教育の視点に立った授業づくりと環境づくりを行い、児童の学力保障と自己肯定感の向上に努める。そのために「鍛ほめ福岡メソッド」を取り入れた授業改善及び生徒指導の充実を図り、児童の自己有用感や自尊感情の高揚、学びの定着をめざす。
- (2) 全教育活動と3つのプロジェクトのつながりを大切にした組織運営のもと、児童の実態と課題にもとづいて創意工夫・改善しながら、児童の主体性や協働性を高める教育活動の充実をめざす。
- (3) 地域・保護者の温かい愛情と支援の中で培われてきた古賀東小教育の伝統とよさを基盤に、地域とともにある学校」として学校と地域が児童を中心にしたつながりを大切にした教育活動を創造し、PTCA 活動や東校区コミュニティーとの交流活動を通して目標の充実・発展をめざす。地域のよさにふれる機会を多く取り入れ、児童に「古賀東小への誇り」を育てる。



## 5 本年度の重点目標

### 主体的・創造的に学び、実践できる子どもの育成

主体的・創造的に学び、実践できる子どもとは、学び合う仲間として、古賀東小学校を、自分たちの学年や学級をよくするために、子どもたちが常に支え合って挑戦する目標をもち、その実現のために努力する子ども、友だちとの豊かな関わりを通して、規律を守り、安心できる環境を自らづくり出すために行動できる子ども、課題に対して積極的に取り組み、柔軟に対応できる力をもち、協働しながら解決できる子どもである。

★実践できるとは・・・行動で表す 示す=学びを行動へ「見える化」する

## 6 重点目標達成のための方策

### (1) 社会に開かれた教育課程と連動する教育活動

- 「主体的、対話的で深い学び」のある授業の具現化に努め、3つの資質能力を伸ばす
  - ・ 学習指導要領総則に示された理念についての共通理解をもとに、3つの資質能力の調和のとれた日々の授業改善に取り組み、学ぶ意欲を高めることにより、学力向上をめざす。
  - ・ 道徳科、総合的な学習の時間、特別活動、外国語活動及び外国語科については、カリキュラムに基づいた授業実践と実態に応じた改善に取り組み。
  - ・ I C Tを活用した学習を積極的に取り入れ、よさを活かした多様な学びのある授業づくりをめざす。
  - ・ 学年の発達段階に応じて、教科等におけるプログラミング教育を推進する。
- 地域や人・仲間とのつながりを実感できる体験的な学びを推進する
  - ・ 地域のひと・もの・ことを生かしたカリキュラム編成をさらに充実させ、地域連携推進委員の方の協力を得ながら、地域と関わる学習内容や幅を広げる。また子どもから地域へ働きかける学習も取り入れ、地域への愛着を深め、貢献しようとする心を育む。
  - ・ 特に生活科学習及び総合的な学習において、東小校区や古賀市の教育資源の教材化を積極的に推進する。

### ○ 各種教育の充実を図る

〈キャリア教育〉になりたい自分の実現のために、社会とのつながりを意識しながら、目的をもって学ぶことができるようにする

振り返りの時間の確保 道徳学習 読書活動 地域の方との交流活動

## 1-1 学校経営要綱

〈人権教育〉自分で考え、判断し、自他を尊重する態度を養う

いのちのノートの活用 中学校と連携した人権教育の充実

〈特別支援教育〉ユニバーサルデザインの視点に立った授業づくりを進め、子どもの可能性を引き出し、学ぶ喜びや伸びを実感できるようにする

個別の教育支援計画及び指導計画の実施 校内支援体制の充実

〈生徒指導〉「いじめ」「不登校」の未然防止、早期発見・迅速な対応に努め、組織的に取り組む

児童の見取りと見届け 挨拶 掃除 規範意識

〈健康・安全・防災教育〉「自分の命は自分で守る」意識の向上をめざす教育活動の工夫と地域と連携した防災教育の取組を協働的に行う

新型コロナウイルス感染拡大防止対策 地域の防災訓練と連携する学習

### (2) 組織的な校務運営システムの確立と参画意識の高揚

- 学年研修を中核とした学年学級経営、指導機能の向上に取り組む
- ・学級間指導格差を生まない学年経営の充実を図る。「**学年で育てる**」意識をもつ学年主任のリーダーシップの発揮及び各担任の意識高揚ができる組織運営を推進する。
- 日常的な評価改善につながる目標管理と教育目標の具現化を図る
- ・C・Aカードの活用による全職員の評価システムを生かした目標管理を行い、フィードバックしながら改善を図る。3つのプロジェクトのつながりを意識し、児童の実態や目的に応じた協議を行うことにより、効果的な教育活動になるようにする。
- ・プロジェクトや学年等が互いに連携し合い、役割分担をしながらチームで校務の推進をすることにより、学校運営に主体的に参画できる体制づくりに努める。すべての教育活動を全職員が「**自分事としてとらえる**」ことができる組織運営を行い、参画意識を高める。

### (3) 業務の合理化による「子どもと向き合う時間」の確保

- 分掌における使命と役割を明確にし、I C T環境を活用した校務・学年・学級事務の効率化を図り、時間の有効活用を推進する
- ・協働性を高め、会議の内容と方法を工夫して、効果のあがる会議の在り方や行事の見直しなどを行い、合理化を図る。またデータや情報の共有化を推進し、働き方改革を進める。
- ・学校だけで課題をかかえ込まず、関係機関と連携をとりながら、専門的見地から必要に応じて働きかけてもらい、学校や担任の業務がスムーズに進められるようにする。
- 働き方改革を推進するための学校組織及び教職員の「意識改革」と「環境整備」に努める
- ・「ムダ ムリ ムラ」のない教育活動にするための工夫を教育効果と内容の面から検討し、費用対効果の高い活動にしていく。※学年や分掌間の連携が重要
- ・会議の精選と充実を図る校務運営と教職員の業務推進における**自己マネジメント力**の向上をめざす。

### (4) 危機管理意識の向上と不祥事防止にむけた取組の充実

- リスクマネジメント及びクライシスマネジメントに関する研修を計画的に実施する
- ・事例に基づいた内容などを取り入れ、具体的・実効的な研修となるようにする。
- ・状況に応じて新型コロナウイルス感染症等の拡大防止対策を行い、児童・職員の命の安全を守る。
- 教職員の教育公務員としての自覚と意識の高揚を図る取組に努める
- ・不祥事防止に関する研修方法の見直しとストレス軽減をめざす協働的で風通しのよい組織マネジメントを推進する。